

## □新入生の皆さんへ

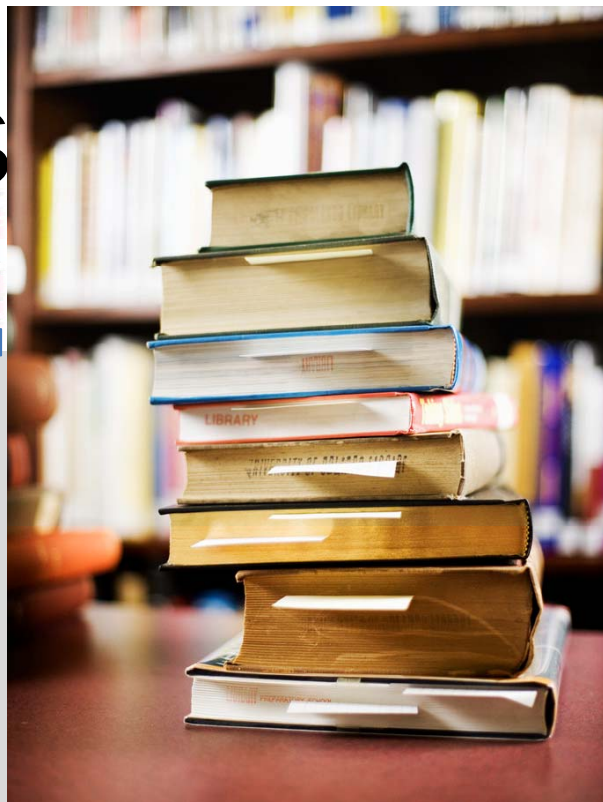
図書館長 藤尾 均

## □私のお薦め本 第10回

柏柳教授が『味覚障害の全貌』『うま味って何だろう』の2冊を紹介します。

## □図書館からのお知らせ

講演会「小児外科手術の現場から遡る時空の旅」、展示会、図書館ツアーなどを実施します。



## 新入生の皆さんへ

## 図書館長 藤尾 均

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。図書館長の藤尾です。専門研究領域は医学史・医療史です。皆さんの今後数年間の学生生活が実り豊かなものになることを心から願っています。

図書館長といえば。むろん、その職責の中心は、図書資料の購入・管理・貸出等を最高責任者として円滑に推し進めることですが、決してそれだけにはとどまりません。とくに、ここ数年は、学生の皆さんの知的生活がさらに充実するような様々なイベントを、数多く企画し実現してきました。

たとえば、

- ① 本学の第一線で活躍していらっしゃる先生をお招きしてロビーでコーヒーを飲みながら自由に語り合うサイエンスカフェ、
  - ② 本学図書館所蔵の貴重な「お宝」医学書の数々（たとえば高校の日本史教科書にも載っている江戸時代の杉田玄白・華岡青洲・緒方洪庵などの著書の現物）の展示とその解説、
  - ③ 図書館に供えてほしい教養書を学生が大型書店で自由に選べるブックハンティング、
  - ④ 小樽商大・帯広畜産大・北見工大など、道内の国立大学との交流事業（蔵書の交換展示および貸出）、
  - ⑤ 旭川市中央図書館との交流事業（読書案内を内容とする講演会の開催など）
  - ⑥ 医学生・看護学生の必読書を集めた「闘病記コーナー」「地域医療書コーナー」の充実強化
- など、目白押しです。



また、本年は旭川医科大学開学40周年に当たりますが、この記念すべき年に、国家予算により図書館の増築が実現することとなりました。春に工事に取り掛かり、平成25年3月には完成する予定です。工事中には騒音等で迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、完成後は、現在と比べ1.4倍ほどのスペースとなり、格段に利用しやすくなります。楽しみにお待ちください。

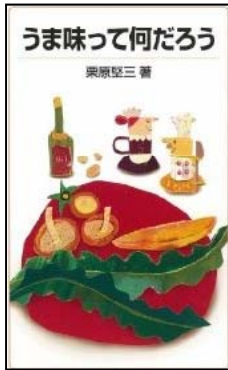
さて、このライブラリーニュースは、A4サイズのささやかなビラに過ぎませんが、昨年4月から月1回のペースで発行してきました。毎回、イベントの予告や実施報告、本学教員による「私のお薦め本」などの情報が満載です。お薦め本は図書館に供えられていて、いつでも読むことができます。今回のコーナーには生理学講座神経機能分野の柏柳 誠教授に御登場いただきました。

バックナンバーは図書館ホームページで読むことができます。このニュースもぜひ、皆さんの知的生活の向上に、上手にお役立てください。最後に、皆さんの前途に幸多かれと念じつつ、この拙稿をとじることとします。

味覚障害の全貌 富田寛著 開架書架/医学専門 WI/210/Mik

医学部にいるのだから、料理方法だけではなく味覚に関する臨床的なことを勉強したいときにお薦めの本。

ほぼ40年前に日本大学医学部耳鼻咽喉科に味覚外来を開設した著者が、味覚障害を様々な視点から400頁を越える頁数で解説している。



うま味って何だろう 栗原堅三著  
文庫新書コーナー BS/Uma

湯豆腐を美味しく食べるコツは、昆布からだしをとったお湯（グルタミン酸を多量に含む）で豆腐を温め、鰹節からだしとった付け汁（イノシン酸を多量に含む）で食べることである。

グルタミン酸とイノシン酸はどちらも単独でうま味を呈するが、両者が同時に存在すると相乗作用が生じ、より、深いうま味を感じさせる。これは、日本人により発見され、世界に認められた「うま味」を上手に使う調理方法である。

近年、クローニングされたうま味受容体でも、グルタミン酸に対する応答がイノシン酸により増強されることが示されている。本著は、岩波ジュニア新書として刊行されているが、その内容は専門書に匹敵する。うま味って何だろうという疑問はこの本を読むと氷解する。

図書館には、料理本もあります。理論と実践で自炊にチャレンジしませんか。【開架書架・一般 596】



料理本やひとり暮らしのための本も並べました!

図書館からのお知らせ

【図書館】貴重書展示講演会のお知らせ  
小児外科手術の現場から  
遡る時空の旅：医学史への誘い

日時：平成25年4月24日(水) 17時15分～(約1時間)  
場所：図書館前ロビーにて  
講師：外科学講座 小児外科科長 宮本 和俊  
司会：図書館長 藤尾 均

講演の対象は学生の皆さんです

学生以外も、どなたでも御参加いただけます



貴重書展示講演会  
4月24日(水) 17:15~

これっていつの時代の書物なの?  
この本はいつの時代の書物なの?  
ファブリキウス(Hieronymus Fabricius 1537~1619)を知っていますか?  
胎生学・解剖学・外科学の父として、17世紀という時代の先陣を走った偉人です。そんなファブリキウスによりラテン語で書かれた外科学書が先づこの図書館の蔵書となりました。たかさんの外科書架が掲載されています。そこで、表紙の外科学書について宮本先生に解説いただきました。

講演では、この本の面白さだけでなく、宮本先生ご自身の小児外科手術現場についてもお話いただく予定です。いつもとは違ったドクターの一面を知り、目頭の疑問をぶつける絶好のチャンスです。そして、言葉、子ども達はどの様な外科治療を受けてきたのか、小児外科の歴史から日本医学史を辿ります。歴史から今の医学を確認しましょう。

4/24は図書館へGO! 多くの参加をお待ちしています。



Dr. 宮本

宮本先生の講演会に合わせ、静脈弁を発見したイタリアの解剖学者ファブリキウスの『外科書』を展示します。外科の歴史を辿る貴重書を是非ご覧ください。

展示期間：4月17日(水)～5月10日(金) 予定

■ミニ展示「旭川を知ろう！」

期間：4月1日(月)～5月7日(火)

図書館2階の階段正面スペースに、旭川に関する本や新生活に役立つ料理の本などを集めました。

■『旭川医科大学研究フォーラム』表紙デザイン画ミニ展覧会 ～宇宙の創生から生命の誕生まで～

期間：3月22日(金)～4月15日(月)

整形外科学講座今井充氏によるCG原画展を開催中です。

■図書館ツアー



日時：4月3日(水) 17:20～

集合場所：図書館前ホール(現地集合)

無人開館、図書や雑誌の配置などを、図書館スタッフが約20分でご案内します。

新しく本学に来られた方や図書館をあまり使ったことのない方の参加をお待ちしています。